学校番号	３１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校古典探究（数研出版）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧　（数研出版）その他未定						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次での学習を発展させ、さらに国語力をのばしましょう。
・古典探究では、古文や漢文の作品に親しむとともに、正しく文意や心情を理解するための語彙力や文法の知識を習得していきます。語句の意味や文法について粘り強く学習しましょう。
・予習・復習をしましょう。予習では本文を読んで語句の意味調べ等を行い、復習では内容を振り返り記憶に残していくことが大切です。
・小テストや定期考査に向けて、家庭学習の習慣をつけましょう。
・提出物の期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

（ａ）基本的な古語単語の意味、古文文法、常用漢字の読み書きなどを正しく理解し、古典などを読むことを通して我が国の伝統的な言語文化の特質について深く理解することができる。
（ｂ）文章の種類をふまえて、その構成や展開、文章の内容や登場人物の思いを的確に捉え、深く共感したり豊かに想像したりする力をのばし、先人のものの見方、感じ方、考え方にふれることで自分の思いや考えを深めることができる。
（ｃ）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して社会と関わろうとする態度を養い、また学習について自分で見通しをもち、自分の成果を振り返りながら粘り強く取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	説話 ［教材］ 大江山（十訓抄）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている b［読］：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている	・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・話し合い ・発表、報告 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・リフレクションシート ・ポートフォリオ
	歌物語 ［教材］ 初冠（伊勢物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている b［読］：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている c：登場人物の交流関係について自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている	・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・話し合い ・発表、報告 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・リフレクションシート ・ポートフォリオ
	故事 ［教材］ 画竜点睛（歴代名画記）	a：時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している［（2）ウ］ b［読］：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている［A（1）ク］ c：朗読から受ける印象の違いを話し合う活動において、積極的に話し合いに参加している	・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・話し合い ・発表、報告 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・リフレクションシート ・ポートフォリオ
2学期	随筆 ［教材］ 大納言参り給ひて（枕草子） ゆく河の流れ（方丈記）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている［（2）イ］ b［読］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている［A（1）イ］また、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している［A（1）エ］ c：敬語を読み解くことによって、動作の主体や登場人物の身分差を読み取り、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている『方丈記』の教科書掲出箇所以外について積極的に読み、学習課題に沿って考察に取り組もうとしている	・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・話し合い ・発表、報告 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・リフレクションシート ・ポートフォリオ

	物語 ［教材］ 光源氏誕生、小柴垣のもと（源氏物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている［（2）イ］ b［読］：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている［A（1）オ］ c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている	・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・話し合い ・発表、報告 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・リフレクションシート ・ポートフォリオ
	史伝 ［教材］ 鴻門の会（史記）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている［（2）イ］ b［読］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている［A（1）イ］ c：本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている	・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・話し合い ・発表、報告 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・リフレクションシート ・ポートフォリオ
3学期	歴史物語 ［教材］ 道長の剛胆（大鏡）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている［（2）イ］ b［読］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている［A（1）イ］ c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている	・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・話し合い ・発表、報告 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・リフレクションシート ・ポートフォリオ
	日記文学 ［教材］ 東路の道の果て（更級日記）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている［（2）イ］ b［読］：関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている［A（1）キ］ c：他の平安女流文学者について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている	・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・話し合い ・発表、報告 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・リフレクションシート ・ポートフォリオ

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入してください。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　70　）時間